

みたけ夢だより

9月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

防災週間に

校長 長尾 晴美

夏休みに入るまでは猛暑日が続き、あまりの暑さに学校では中休みに、外での遊びを取りやめた日がありました。雨降りのためになしというのはあっても、熱中症の危険のため禁止というのは初めてです。夏休みに入ってから特別水泳では、日によっては高気温のため中止せざるを得ない時間帯がありました。

9月には防災週間（8/30～9/5）に合わせて、大規模地震を想定した避難訓練を実施します。地震で記憶に新しいのは6月の大阪北部地震です。ブロック塀が倒壊して児童が犠牲になるという大変痛ましい事が起こりました。国や市からのブロック塀等の緊急点検の要請を受け、学校内外の安全確認を進めました。通学路の点検におきましては、教職員だけでなく、PTA校外委員の方々や地域の自治会、町内会の皆様にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

地震だけではなく、7月の西日本方面の豪雨では、平成になってから浸水等最悪の被害をもたらした、200名以上の尊い命が犠牲になりました。謹んでお悔やみを申し上げますと共に、避難を続けざるを得ない方々がたくさん居られることを忘れてはならないと思います。夏休みが明けて、当たり前にみたけ台小の学校生活が再開できることに感謝します。自然災害がもたらす影響は、生活に様々な影響を及ぼします。いざというときに自分の身を自分で守ることができるように、学校でも防災教育を進めていきます。

本校では月に一度、地震や火事、不審者侵入等を想定した避難訓練を実施しています。二次避難場所として校庭に移動するときの子どもたちは、「お（おさない）・か（かけない）・し（しゃべらない）・も（もどらない）」の注意事項を守り、素早く行動する事ができています。訓練の時には教職員の指示を聞いて的確に行動できますが、これからは、目の前の危険や予想される危険に対して、自分で判断する力、行動する力が求められます。日常生活の様々な場面で「これをやったら危ない」「ここに近づいては危ない」といった感覚を身につけたいところです。「危うさ」を認識する感性は、自分や相手を大切に

大きな行事である運動会に向けての取組が始まります。暑い日がまだ続きますが、心と体の健康面に留意していきたいと思います。

